

市内212例目（県内375例目）の概要

令和3年5月9日公表

5月8日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに1名の方、市内212例目（県内375例目）となる感染者が確認されました。

居住地及び発症日、症状につきましては、別紙「新型コロナウイルス感染症の発生について」をご参照ください。

年齢・性別につきましては、本人の意向により公表を差し控えさせていただきます。

5月7日に37度台の発熱、喉の違和感、頭痛の症状があり、8日に211例目の濃厚接触者としてPCR検査を行った結果、陽性であることが判明したものです。

昨日は保健所の指導の下に自宅で待機し、本日9日に感染症対策を講じた県内の医療機関に入院される予定です。

現在は37度台の発熱、喉の違和感、頭痛、咳の症状はありますが、軽症とのことです。

発症日2日前、5月5日以降の感染可能期間に市内の勤務先に出勤されており、接客の機会がありますが、勤務先で感染予防策を徹底されていることなどから、不特定多数の方へ感染の恐れがあるような接触はありません。現時点で聞き取り調査により接触者は把握できています。

発症日2週間前、4月23日以降の期間において、県外への移動歴はありませんでした。

今後も調査結果を踏まえ、必要な検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

さて、県内でも感染事例の発生が連日確認されていますが、もしも発熱や咳などの体調不良を感じられた場合には、まず仕事や学校などを休んでいただくことが感染拡大の防止につながる大切な行動です。

また、家庭内にあっても、部屋を分ける、換気する、マスクをつけるなどの基本的な感染予防策をとるよう注意しましょう。

そして自己判断せず、すぐにかかりつけ医に相談・受診する、積極的に検査を受けるなど、万一に備えた対応をお願い申し上げます。

市民の皆様には、大切な家族や友人を守るためにも、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」の徹底や「三密の回避」をはじめとする「感染しない、させない」ための取り組みに引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者また医療関係者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。